

総社市地震ハザードマップ

ゆれやすさマップ

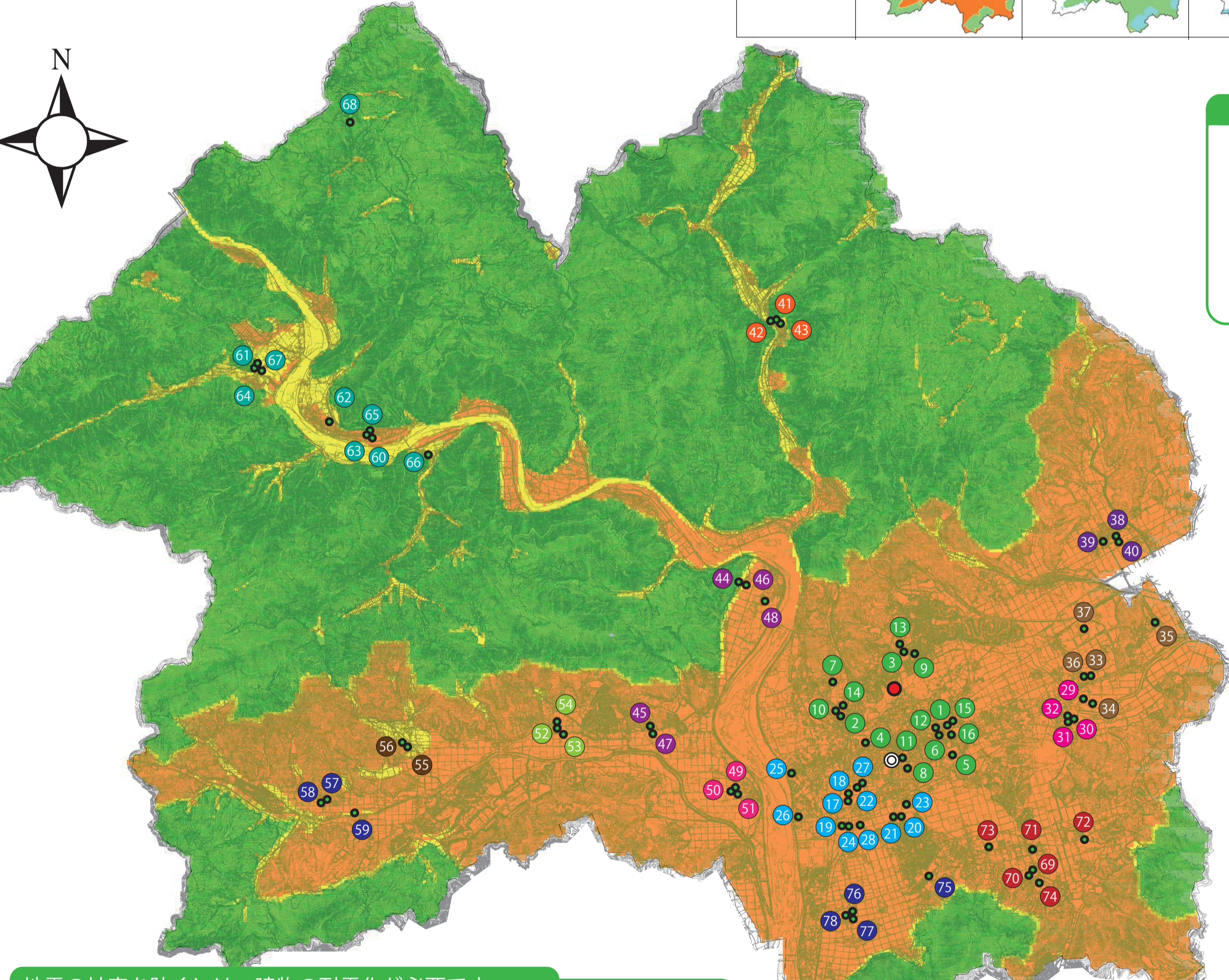
この「ゆれやすさマップ」は、総社市域に影響を及ぼす可能性のある地震が発生した場合に、どのくらいの震度が予測されるかを示したものです。みなさんのお住まいの地域でどのくらいのゆれが予測されるかを確認し、地域の地震対策に役立って下さい。

- ゆれやすさマップの活用方法
- ①「わが家が立っている地盤のゆれやすさを確認しましょう」
 - ②「よく行くところ、よく通る道のゆれやすさを確認しましょう」
 - ③「避難場所を確認し、家族・地域で安否確認の方法などについて話あっておきましょう」

■ゆれやすさマップの作成方法

ゆれやすさマップは、総社市に大きな影響を及ぼす可能性のある地震として、①全国どこでも起こりうる直下の地震、②東南海・南海地震、③中央構造線の一部による地震の3つを想定し、それらの地震で予測される震度を重ね合わせて最大となる震度を示したものです。

想定地震	全国どこでも起こりうる直下の地震	東南海・南海地震	中央構造線の一部による地震
想定マグニチュード	M6.9	M8.6	M8.0
総社市で予測される震度	震度6強	震度6弱	震度6弱
震度分布図			



- 凡例
- 震度7
 - 震度6強
 - 震度6弱
 - 震度5強
 - 震度5弱
 - 市役所庁舎
 - 消防署
 - 避難場所

震度階級表

震度6強	立っていることができずはわないと動くことができない。耐震性の低い木造住宅では倒壊するものが多い。
震度6弱	立っていることが困難になる。壁や柱が破損するものがあり、耐震性の低い住宅では倒壊するものが多い。
震度5強	多くの人が行動に支障を感じる。耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。
震度5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのかわかる。

※気象庁震度階級解説表より抜粋。

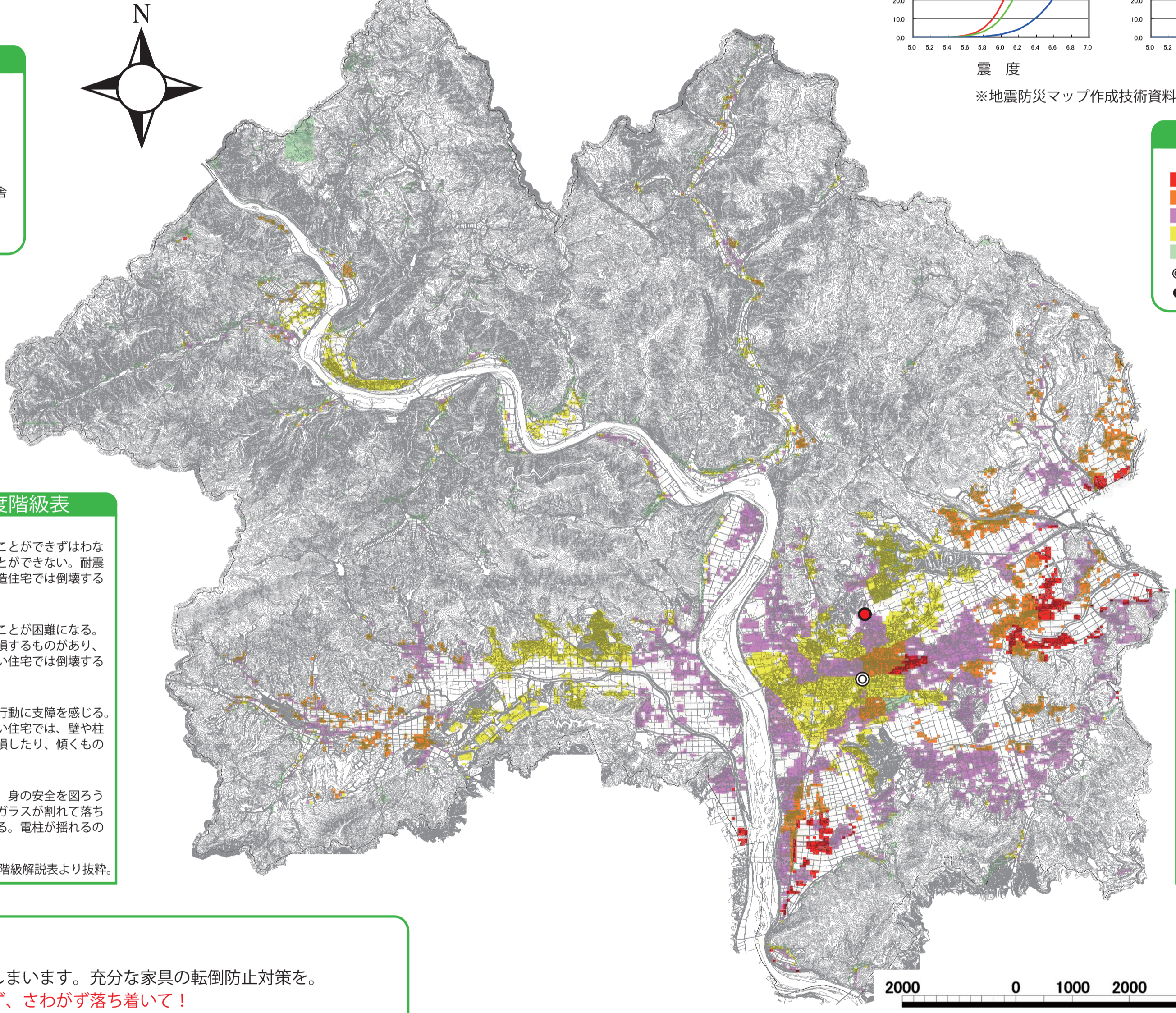
地域危険度マップ

「地域危険度マップ」は、「ゆれやすさマップ」に示している地震によるゆれが生じた場合に、建物の被害がどのくらい発生するか予測して示したものです。皆さんのお住まいの地域で建物被害がどのくらい予測されているのかを確認し、地域の地震対策に役立ててください。

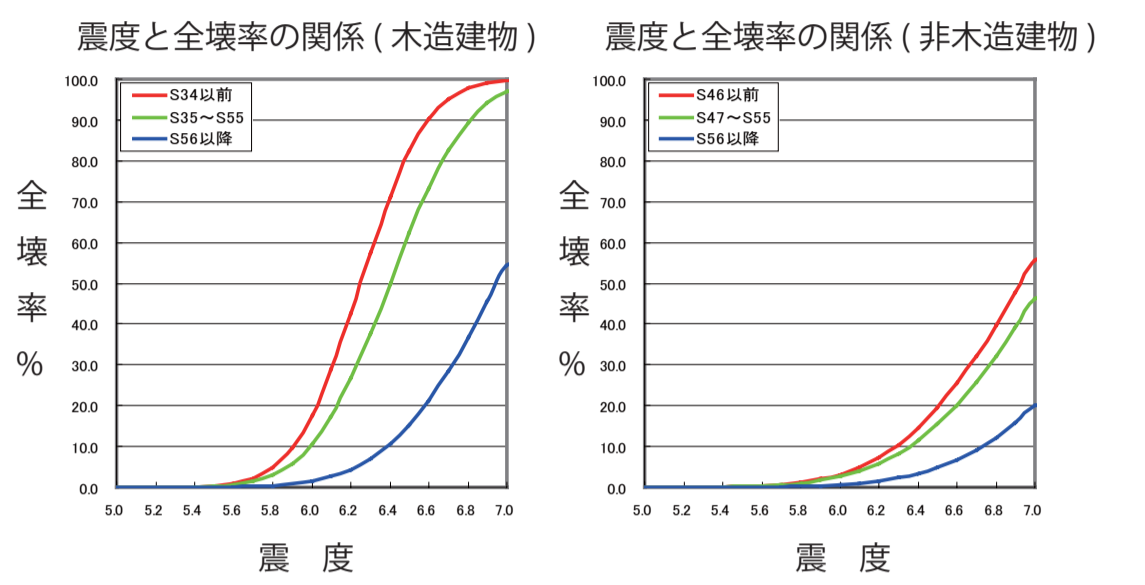
- 地域危険度マップの活用方法
- ①「自分の家の近隣地域の危険度をチェックしましょう」
 - ②「よく行くところ、よく通る道の危険度をチェックしましょう」
 - ③「避難場所までの経路沿いの危険度をチェックしましょう」

■地域危険度マップの作成方法

地域危険度マップの作成にあたっては、おおよそ右のような手順で建物被害の程度（建物全壊率）を予測しています。



- 凡例
- 建物全壊確率
 - 20%以上
 - 15%～20%
 - 10%～15%
 - 5%～10%
 - 5%未満
 - 市役所庁舎
 - 消防署



※地震防災マップ作成技術資料(内閣府平成17年)より作成

「全壊」とは？

全壊とは、自然災害による建物の被害の程度の中でも、最も大きく被害を受けた状態を示します。具体的には、平成13年6月に国によって「災害の被害認定基準」が定められ、居住する上で危険な状態を「全壊」として扱っています。

建物の全体、もしくは一部の階がすべて倒壊している。外壁や柱の傾斜が1/20以上である。

地震の被害を防ぐには、建物の耐震化が必要です

大きな地震が起きても自分の家は大丈夫なのか？
耐震診断を受けて確かめましょう！外見に異常が見られなくても、専門家による耐震診断を受けることが大切です。次のような建物は耐震性が不足している可能性が高く、耐震診断が特に必要です。

- 新耐震設計基準の施行(昭和56年)より前に施工された建物
- 壁の配置にかたよりがあつたり、一方向に窓が多くあつたりするなどの悪い建物
- 腐植していたり、シロアリの被害に遭っていたりする建物

耐震性が不足していたら耐震改修を行いましょう！

耐震診断で危険性があると判断されても、適切な耐震改修工事を行うことで安全性を確保できます。適切な耐震改修の方法を専門家に相談し、わが家の弱点を解消しましょう！耐震改修をリフォームと合わせて行うことも可能です。

「偏心」の検討
「壁」の補強
「基礎・地盤」の補強
「接合部」の補強
「老朽・腐朽部材」の交換

耐震診断・耐震改修の補助事業があります

昭和56年5月31日以前に着工した住宅で耐震診断や耐震改修を実施する場合、補助を受けられる制度があります(補助対象には条件があります)。詳しくは、お問い合わせ先までご連絡下さい。

地震対策10カ条

- ①まずわが身の安全を図れ！
ケガをしたら避難が遅れてしまいます。充分な家具の転倒防止対策を。
- ②すばやく火の始末。あわてず、さわがず落ち着いて！
揺れがおさまったら、あわてず確実に調理器具や暖房器具の火を消します。
- ③非常出口を確保しましょう！
余震により建物ゆがみ、出入り口が開かなくなることがあります。
- ④火がでたらまず消化を！
「火事だ！」と大声で呼び、隣近所にも協力を求め初期消火に努めましょう。
- ⑤外へ逃げるときはあわてずに！
外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、頭部を保護します。
- ⑥日常的に危険な箇所を把握しておきましょう！
狭い道などでは、ブロック塀や自動販売機の倒壊などは要注意です。
- ⑦土砂災害に注意！
山間部で地震を感じたら、かけ崩れや落石・倒木に注意しましょう。
- ⑧避難は徒歩で！荷物は最小限に！
避難場所には車を問わず徒歩で避難。底の厚い靴の用意を忘れずに！
- ⑨皆で協力しましょう！
お年寄りや子供、けが人などに声をかけ皆で助け合いましょう。
- ⑩正しい情報入手し、余震に注意しましょう！
うわさやデマに注意しましょう。ラジオなどで正しい情報を。

いざというとき！避難の時の持ち物

- 食料関係**
ミネラルウォーター・もち・乾パン・レトルト食品・缶詰など火を通さないで食べられるもの(3日分)
- 安全対策**
懐中電灯・電池・寝袋・消毒液・ガーゼ・包帯・薬など
- 日用品**
新聞紙・ラジオ・カッター・マッチ・ライター・ろうそく・ティッシュペーパーなど
- 衣類関係**
下着1～2枚・靴下・タオル・セーター・ジャンパー・軍手・レインコートなど
- 貴重品・その他**
現金・権利証券・預金通帳・免許証・健康保険証・印鑑
防火ずきん・ヘルメット・防塵マスクなど

お問い合わせ先

総社市役所 産業建設部 都市計画課
総社市中央一丁目1番1号
tel: 0866-92-8289
fax: 0866-92-8383 H20.3

- 避難場所
- 総社地区
- 1 総社小学校
 - 2 総社中央小学校
 - 3 総社北小学校
 - 4 総社西中学校
 - 5 総社東中学校
 - 6 総社幼稚園
 - 7 井原野幼稚園
 - 8 総社南幼稚園
 - 9 総社北幼稚園
 - 10 総社保育所
 - 11 総社文化センター
 - 12 中央公民館総社分館
 - 13 中央公民館総社北分館
 - 14 中央公民館浅尾分館
 - 15 働く婦人の家
 - 16 県立総社高等学校
- 常盤地区
- 17 常盤小学校
 - 18 常盤幼稚園
 - 19 総社下水処理場
 - 20 スポーツセンター
 - 21 常盤集会所
 - 22 中央保育所
 - 23 武道館
 - 24 中央公民館常盤分館
 - 25 中原会館
 - 26 やすらぎの家
 - 27 サンワーク総社
 - 28 県立総社南高等学校
- 三須地区
- 29 総社東小学校
 - 30 三須幼稚園
 - 31 上林会館
 - 32 東公民館三須分館
- 服部地区
- 33 服部幼稚園
 - 34 東公民館
 - 35 長良文化センター
 - 36 東公民館服部分館
 - 37 岡山県立大学
- 阿曾地区
- 38 阿曾小学校
 - 39 東公民館阿曾分館
 - 40 阿曾幼稚園
- 池田地区
- 41 池田小学校
 - 42 池田幼稚園
 - 43 中央公民館池田分館
- 秦地区
- 44 秦小学校
 - 45 総社中学校
 - 46 秦幼稚園
 - 47 西公民館
 - 48 西公民館秦分館
- 神在地区
- 49 神在小学校
 - 50 神在幼稚園
 - 51 西公民館神在分館
- 久代地区
- 52 総社西小学校
 - 53 久代幼稚園
 - 54 西公民館久代分館
- 山田地区
- 55 山田幼稚園
 - 56 西公民館山田分館
- 新本地区
- 57 新本小学校
 - 58 新本幼稚園
 - 59 西公民館新本分館
- 昭和地区
- 60 昭和小学校
 - 61 維新小学校
 - 62 昭和中学校
 - 63 昭和幼稚園
 - 64 維新幼稚園
 - 65 昭和福祉センター(昭和公民館)
 - 66 下倉生活改善センター(昭和公民館下倉分館)
 - 67 昭和公民館水内分館
 - 68 昭和公民館富山分館
- 山手地区
- 69 山手小学校
 - 70 山手幼稚園
 - 71 山手公民館
 - 72 東風館(山手公民館宿分館)
 - 73 西都公正館(山手公民館西都分館)
 - 74 平和館(山手公民館岡谷分館)
- 清音地区
- 75 ふるさとふれあい広場
 - 76 清音小学校
 - 77 清音公民館
 - 78 清音幼稚園